

## 現代文 A

教 科	国 語	単位数	3	学科・学年	全科 3年
使用教科書	新編現代文A（第一学習社）				
副教材等	常用漢字オールクリア 四訂版（尚文出版）・国語必携パーフェクト演習 三訂版（尚文出版） 新編現代文A 学習課題集（第一学習社）				

## 「現代文A」はどんな科目？

高校入学以来1年、2年と学習してきた「国語総合」の基礎の上に、とくに「読むこと」に重点を置いて学ぶ科目です。近代以降の様々な文章を読み味わい、広い見地から物事を見る必要性を感じ、自ら読書する姿勢を育てることを目標としています。

## 「現代文A」の学習の特徴は？

1・2年生の教材よりも、長いまとまりのある文章を読み進めていく実践的な授業内容になります。表現の基礎的な知識（漢字力・語彙力）を習得し、文章を読む技術（読解力）を身につけます。また、読後の感想を通して、自分の思いを文章にする創作活動もします。

## 「現代文A」で大切なこと（留意点）は？

とにかく1時間1時間の授業を大事にすることです。集中して文章を読み、自分の考えを積極的に発言し、人の話をしっかり聞く、この「読む」「話す」「聞く」の3点を積み重ねていくことで国語力は向上します。面接時にしっかりとした受け答えができるよう自分の考えを持ち、正しく伝える力を身につけましょう。また表現の基礎力向上のために1・2年生で実施してきた漢字の小テストを継続して行います。漢字力の上に、実践問題演習を通し、慣用的表現・ことわざなどの語彙を蓄え、作文や小論文などの文章表現に活かしていきましょう。3年生として、進路実現に向けて確かな国語力をつけていきましょう。

## 1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	随想「なぜ“コロンブスの卵”を描くのか」 福田哲郎	・物事を広い視野でとらえる姿勢を学ぶ。 ・人前で自分をアピールする実践。 ・問題演習による試験対策。
	5	・自己紹介 「パーフェクト演習」（表記・表現の基礎） 〈中間考査〉	・登場人物の心情や行動を的確に読み取り、人物像を描く。 ・自己紹介文を書く要領を学ぶ。 ・問題演習による試験対策。
	6	小説「相棒」 内海 隆一郎	・身近な事柄に興味関心を持つ。 ・自分の思い、感動を伝える。
	7	・自己紹介文の作成 「パーフェクト演習」（作文の基礎・敬語表現） 〈期末考査〉 評論「数え方で磨く日本語」 飯田 朝子 ・履歴書・志望動機を書く ・おすすめの本の紹介	・人間と動物の関わりについて、考えを深める。 ・名作を読み、読書意欲を高める。
2 学 期	9	評論「クマを変えてしまう人間」千松 信也 〈中間考査〉	・具体的で正確な報告文の書き方を学ぶ。 ・問題演習によって、社会常識を身につける。
	10	小説「山月記」 中島 敦 〈期末考査〉	
	11 12	・報告文を書く 「パーフェクト演習」（一般常識問題演習）	
3 学 期	1 2	評論「支え合うことの意味」 鷲田 清一 〈学年末考査〉	・他者との関わり方を学び、人間のあり方を考える。

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の5つの観点から行います。

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

評価方法
年5回の定期考査
長期休業中に出題される課題および休業あけの宿題テスト
学習への参加状況（出席状況、授業中の取り組み、問題演習への取り組み等） ノートのまとめ方 授業で活用する教材、小テスト・朗読・暗唱テスト等への取り組み

1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

3年生なので、進路実現に役立つよう、実践力を高めましょう。自分の考えを述べることや、場に応じた言葉遣いなど、面接試験に活かせることを学びます。また学期ごとに、作文・俳句・短歌などの創作をします。自由にのびのびと自分の思いを表現しましょう。普段の1時間1時間の授業を大切にしてください。

また、年に2回実施される漢字能力検定に積極的に挑戦してください。目標があるとやる気が出て、力もつきます。

授業を通して、文章を読み味わい、積極的に読書し、クラスメートとの意見交換を繰り返しながら、今後の人生に役立つ基盤を身につけていきましょう。